湘友会報
題字は天野会長
発行責任者　湘南高等学校 湘友会　岩金　潤二郎　二節　部
藤沢市鵠沼神明5-6-10
電話藤沢(0466)24-1151
印刷所　藤沢印刷株式会社

母校の卒業式

総計一二六三名

（祝辞を述べる伊原隆君）

全日制

三月一日午前十時より、高校第19回卒業式が行なわれ、四百九十名の若人が巣立った。湘友会代表として**伊原隆君**（1回生・横浜銀行頭取）が祝辞を述べた。

定時制

同日午後六時から、定時制の卒業式が行なわれた。一五六名の中には、去る一月、不幸な死を遂げた機動隊員だった石塚民子さんが、学校の配慮から加えられ、いやがうえにも厳粛な卒業式だった。湘友会を代表して、増田弥太郎君（1回生・藤沢支部長）が祝辞を述べた。

通信制

三月十二日には、通信制五二名の卒業式。全日制とは違い、また定時制とも異なって、レポートで学習して、ここまでやって来た人々だけに、感慨一入の面持であった。湘友会代表として、兼子秀夫君（相模工業大学理事長・6回生）が祝辞と激励をおくった。

（写真）
赤木先生寿像の下に
立つ直井校長

ご挨拶

学校長　直井　要

わたしが、本校で級主任という気持になります。

われは一年一年と生徒が巣立って行くが、また、全日制・定時制・通信制を通じて五千余の新しい先方へ送り出すことは、教育者にとって大きな喜びであります。

各部門の中で、本校は全日制が日本一を誇る教員組織であります。

これは、本校が創立以来、諸先輩の方々が築きあげられた伝統であり、また、現在の教職員一同が努力を続けてきた結果であります。

これは、皆さんの仲間意識の強さ、先輩を敬う気持、後輩を愛する気持、学校を愛する気持、これらが一体となって、本校の伝統を築きあげてきたものと思います。

これは、本校の誇りとするところであり、また、皆さんの誇りとするところであります。

この伝統を守り育てることは、皆さんの責任であります。

皆さんは、本校の伝統を守り育てるという気持を持って、社会に出ても、本校の名を汚すことのないよう、また、本校の名を高めるよう、常に努力されることを望みます。

本校の教育目標は、人格の完成であります。

人格の完成とは、人間として最も大切なことであります。

人間として最も大切なことは、人間愛であります。

人間愛とは、思いやりであります。

思いやりとは、他人の立場を理解することであります。

他人の立場を理解するためには、自己を犠牲にすることも必要であります。

自己を犠牲にすることは、口で言うのは簡単でありますが、実行することは非常に難しいことであります。

しかし、皆さんは、本校の教育目標である人格の完成を目指して、日夜努力されることを望みます。

本校は、全日制・定時制・通信制を通じて、生徒数が日本一であります。

生徒数が日本一ということは、教職員の日本一の先方へ送り出すことは、教育者にとって大きな喜びであります。

これは、皆さんの仲間意識の強さ、先輩を敬う気持、後輩を愛する気持、学校を愛する気持、これらが一体となって、本校の伝統を築きあげてきたものと思います。

これは、本校の誇りとするところであり、また、皆さんの誇りとするところであります。

この伝統を守り育てることは、皆さんの責任であります。

皆さんは、本校の伝統を守り育てるという気持を持って、社会に出ても、本校の名を汚すことのないよう、また、本校の名を高めるよう、常に努力されることを望みます。

本校の教育目標は、人格の完成であります。

人格の完成とは、人間として最も大切なことであります。

人間として最も大切なことは、人間愛であります。

人間愛とは、思いやりであります。

思いやりとは、他人の立場を理解することであります。

他人の立場を理解するためには、自己を犠牲にすることも必要であります。

自己を犠牲にすることは、口で言うのは簡単でありますが、実行することは非常に難しいことであります。

しかし、皆さんは、本校の教育目標である人格の完成を目指して、日夜努力されることを望みます。

（写真）
赤木先生寿像の下に
立つ直井校長

湘友会総会のご案内

6月25日（日）午前10時（文化祭当日）

案内状は さし上げません

42年度湘友会総会は6月25日（日）**図書館**で開かれる。会務報告、会計報告、監査報告、役員改選、支部報告等を行なう。その後懇談会（昼食）、会費不要。軽食の用意があります。

当日は、**文化祭**で、生徒の研究発表・展覧会・演劇等があります。

湘友会法律相談所 開設

どうぞご利用ください

昨年6月27日の湘友会総会で、法律相談所設置の意見が出て、早速実現に移された。現在各地、各回のベテラン弁護士が、別表の如く顧問を引きうけておられる。本会としては、更に全国各地に拡げ、会員の利用に応じたい考えである。なお顧問の申込みと、会員の利用を待ちうけている。

<湘友会法律相談所顧問一覧>

卒業回生	氏名	職業	住所	自宅電話番号
3	柳川　澄	柳川法律事務所 (045)（68）6327	藤沢市藤沢 932	0466(22)2694
3	浜田　博	大津弁護士会長 (07754)（2）3120	大津市膳所下清水町 419	07754(2)3120
9	井上福太郎	井上法律事務所 (03)（541）8311	都中央区銀座東 6—4	03(541)8311
15	岩村　隆弘	岩村法律事務所 (03)（571）1155	都渋谷区鶴田 1—111	
16	江橋英五郎	江橋法律事務所 (03)（212）1628	藤沢市辻堂 1200	0466(36)5697
16	加藤　弘文	加藤法律事務所 (0466)（22）2513	都千代田区丸ノ内八重洲ビル5階	03(933)2617
17	池谷　利雄	池谷法律事務所 (0463)（21）2277	都港区赤坂溜池 1—11	03(583)2211
17	阿部　昭吾	阿部法律事務所 (03)（561）1540	都千代田区霞ヶ関三丁目 2—4	03(581)2461
25	中村　尚彦	銀座法律事務所 (03)（567）0928	都中央区銀座西 5—2 曽根ビル	03(571)4965
28	中村　従道	渡辺・中村法律事務所 (03)（567）0928	都日黒区緑ヶ丘 2—20—17	03(717)4965
33	柳川　従道	柳川法律事務所 (045)（68）6327	藤沢市藤沢 932	0466(22)2694
20	楠田　進	司波・斉藤法律事務所 (03)（571）2208	都中央区銀座西5-2 曽根ビル4階	03(571)3832
			藤沢市鵠沼松が岡 4—17—8	0466(23)3832

通信制卒業の皆さん

むつみ総会に参会を

6月25日(日)午後1時

本会も11回を経過、皆さんのご発展を喜んでいます。6月25日（日）午後1時から母校で総会を行ないます。当日は文化祭ですから、10時から湘友会総会を行ないます。ぜひ参加会、こちらも参会してください。

経過報告・会計報告等懇談会計等を審議し、よりよい皆さんの「むつみ会」に組織していきたいと思います。

あいさつ

湘友会長　天野武一

私が、湘南高校の前身である神奈川県立湘南中学校に、第一回生二〇九人の一人として入学したのは、大正一〇（一九二一）年（昭和六年）のことでありますから、明治から数えれば四五年前ということになります。これは、ちょうど永い年月を経過したことになるのですから、思えばわれわれのおおかたは、ここに多くの友を得た場所であり、また、ここほど、楽しい時代はほとんどなかったのではないかと思います。

私は、この学舎で、伊藤博文公から親しく教えを受けたことがあるという、ちょっと自慢できる経験をもっていますが、同時に、明治生まれの最後の人間であるとともに、大正時代の学生生活を、ここほど満喫できた者はいないと思います。

ここは、私にとって、まさに第二の故郷であり、また、母校の地を離れて、遠く関東に来てからも、ここほど、なつかしく、ここほど、親近感を感じた学校はありません。

ここに、湘友会館が建てられ、みごとに創立以来の伝統が築かれ、いよいよ、この湘友会館で学んだ後輩諸君の面影が、想い出が、はげくわが胸を去来し、新しい感慨をもって、この会館を訪れる機会が多くなることを期待しています。

最後に、湘友会の一層の発展と、会員諸君の健康と幸福を祈念して、あいさつといたします。

（2面に続く）

新山先生教頭に

田中先生の後をうけて、国語の新山泰先生が、教頭にならられた。東大出身で、深い学識と、誠実な人がらの人格者。

先生方の信望の最も厚い先生の教頭昇任は、湘南の躍進に多きくプラスするで あろう。

田中教頭商工校長に

昨年九月二日付で、田中信義教頭が、商工高等学校長に栄進された。

商工高校は、先生方も長く化学の先生方でしていた学校。古巣に帰った先生のご活躍を期待したい。

転任・着任

清田先生　定時制主事に

1月1日付

清田　義澤先生（社会）
　―定時制―
志村光比古先生（主事）
　―事務局長補佐―

4月1日　転任

―定時制―
杉田　政吉先生（数学）
　―鎌倉高等学校へ―
鈴木喜久助先生（理科）
　―川崎高等学校へ―
市川　直明先生（社会）
　―小田原高等学校へ―

―通信制―
高野　照雄先生（英語）
　―西湘高等学校へ―
中野伸主先生（英語）
　―川崎工業高等学校へ―

小出　和子先生（国語）
　―神奈川工業高等学校へ―

4月1日　着任

―全日制―
石川　旭先生（社会）
　―小田原高等学校より―
　―定時制―
神川　治任先生（社会）
　―湘南通信制より―
石田　靈霞先生（数学）
　―湘南女子高校より―
小野　雄司先生（数学）
　―城内高等学校より―
大石　静二先生（英語）
　―早稲田中学より―
稲葉　悦子先生（国語）
　―東京大学卒。37歳生。―

4月1日　新任

―定時制―
森屋　泰光先生（理科）
　―東京理科大学院修了―
佐藤　安生先生（国語）
　―東京学芸大学卒―

―通信制―
森田　利三先生（英語）
　―鶴巻中学より―
森田　晃先生（社会）
　―早稲田大学卒。31歳生。―

大学進学資料（全日制）

昭和42年度

各校別合格者数　（　）内は現役合格者数　○内は全国順位

	本年	昨年
大大大	3 (2)	2 (1)
大大大	1 (1)		
大大大	4 (2)	1 (1)
大大大	1 (1)		
大大大	3 (0)		
大大大	3 (0)	2 (2)
大大大	5 (4)	3 (2)
大大大	3 (0)	2 (0)
大大大	2 (1)	2 (1)
大大大	2 (2)	1 (1)
大大大	1 (1)	1 (1)
大大大	8 (6)	4 (3)
大大大	8 (3)	7 (6)
大大大	2 (0)	1 (1)
大大大	2 (1)	2 (1)
大大大	6 (5)	3 (1)

	本年	昨年
大大大	7 (4)	6 (3)
大大大	20 (6)	9 (3)
大大大	6 (0)	1 (1)
大大大	2 (1)	1 (0)
大大大	7 (5)	10 (8)
大大大	3 (0)	3 (1)
大大大	9 (1)	14 (6)
大大大	3 (2)	
大大大	12 (5)	10 (3)
大大大	16 (4)	12 (6)
大大大	1 (1)	3 (0)
大大大	1 (1)	4 (4)
大大大	4 (3)	2

	本年	昨年
大大大	3 (0)	2 (2)
大大大	2 (1)	2 (2)
大大大	3 (2)	
大大他	2 (1)	1 (1) 5 (5)
工	37 (20)	

672(287)　612(391)

現役の実数　213人
（昨年度現役実数　281人）

学部別合格者数

東大	文	10 (5)	経済	6 (1)
	一二三理	4 5 (0)	工	16 (7)
	一二三理	28 12 (2)	教	11 (9)
	一二三理	20 3 (1)		
	計	67 (30)	計	33 (17)

横浜国大	教育	52 (11)	早大	政経 5 (2)
	学芸	15 (5)		法 2 (1)
	経済	25 (5)		文 3 (2)
	工	18 (1)		教育 4 (4)
	計	65 (24)	慶大	経済 19 (5)
				法 6 (2)
				文 3 (0)
			計	81 (9)

				27 (9)
				12 (5)
				5 (2)
				4 (4)
				3 (0)
				(0)
				(0)
計		183		59

対浦和高戦に敗る

湘南３―５浦和

五月十日、浦和高校を会場として、第11回の対抗戦が行われた。あいにくの雨天だったが、熱戦の末、三勝五敗一引分で敗れた。

種目得点表

種目	（湘南）	（浦和）
ラグビー	32	0
サッカー	1	1
〃	2	0
バスケット	68	82
卓球	3	4
水泳	178	89
陸上	3	21
道場	6	9
庭球	4	9
剣柔		

清明会館

昨年六月竣工の清明会館は、県下高校第一の偉容を誇り、合宿に、個室に大いに利用され、食堂は全日制・定時制と夜昼繁昌している。このほど完成から、すばらしい贈物を受けた。

清明会館完工を記念して山下大五郎君（一回生・二紀会）がパンジーの咲く静かと題する見事な油絵（10号）を寄贈した。

平塚で同期会を開いた20回生（5年制卒）は、母校の清明会館にと、電気時計二個を、昨年の湘友会当日寄贈した。

会館利用の生徒達は、先輩の好意に大いに感謝している。

山下大五郎君油絵を20回生電気時計を

〔明るく清潔な食堂は満員の盛況〕

金持先生叙勲

藤沢の教え子がお祝いの会

旧師金持喜一先生（歴史）越えたとは思われないお元気。お祝いが、ここだけ多年、教育界に尽くされた功労と20回生（五年制）まで教えをうけた、湘南関係の栄誉におおいわれる。

藤沢のその教え子たちが、元校長浅井誠一先生（体育）次いで二人目である。

高校長を歴任し、秦野市立中学校長勤めた、現在同市の教育長勤めた、現在同市の教育長勤めた、現在同市の教育

五十周年記念事業醵金
残額は積み立て

清明会館建設を機に、五十周年記念事業の計画が進められているが、昨年六月以後も、寄付がよせられた。（別表）。総計は、一三二四名、二四四三〇〇円となった。既に母校の会館建設に寄贈すみの一〇〇万円と、諸経費を除いた残額一〇四万円は、五年後の五十周年記念事業費として積み立てられる。

回数	金額	氏名
1	3,000	名
2	5,000	太郎進供治端久三郎贈夫雄功和彦雄弘夫月子郎幸子
3	14	吉　正祐光銀俊英和茂　忠孝富　安五の浩正礼
4	14	島与屋山口山本木部野原岸田江川川川上
5	18	長今友丸彫阪小山鏑安前市根蟹斉吉山柴蟹石相杉井
6	19	
7	22	
8	25	
9	26	
10	27	
27	28	
28	29	
29	30	
30	35	
35	37	
37	40	
40		
回数	金額	
1	3,000	
2	5,000	
3	2,000	
4	1,000	
5	5,000	
6	2,000	
7	2,000	
8	1,000	
9	1,000	
10	1,000	
27	1,000	
28	1,000	
29	1,000	
30	1,000	
35	1,000	
37	2,000	
40	2,000	
	1,000	

藤沢支部幹事会

昭和四十二年八月二十日午後、支部長増田弥太郎君（1回）経営の神奈川理店佐原にて、幹事会を開催した。

母校より直井校長、田中教頭（ともに2回）を招き、集まった幹事は三十名。母校の現状説明を聞き、清明会館募金の促進省、五十周年記念事業のあり方、新体育館建設、湘友会名簿発行などが議題により、支部としての協力方法が検討された。

県議に 松岡・新堀君
市議に 葉山・番場君

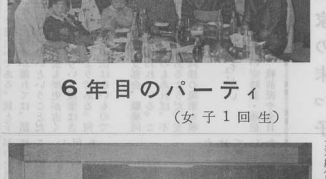
県会議員には、戦後連続当選の松岡正二君（6回・逗子市選出）と、新堀豊彦君（25回・横浜市南区）が、共に大量得票して、当選した。新堀君は、父君の地盤を継いだとはいえ、最高点で初陣を飾った。

藤沢市会議員には、人気者葉山綾君（37回）が前回に引き続いて上位当選。初めての番場定孝君（34回）も若さにものをいわせ、見事に当選した。

四月の地方選挙の結果、

6年目のパーティ

（女子1回生）



（42. 10. 15）　魚忠で

26回生同期会

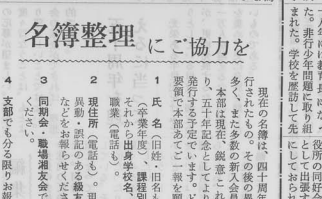
四十一年十月十五日、26回生（高三）の恒例の同期会が、新装の魚忠（来原祥光君経営）で催された。

茅ヶ崎・平塚・大磯の所連加えて、東京から吉祥寺・三鷹の所まで、26時哉君や、長く欧州に駐在していた竹松勇君等の珍らしい顔も見えて、例の如く賑やかな一夕を過ごした。

開けちゃった学校界隈

駅から、畑の中を縫う様に続く舗装路が、広く綺麗に整備されて、東海道線の踏切まで貫けた。但し、未だに整備されていない。急ぐ人は、小田急ガード下の道路を横切って、線路の上を歩いて通る。

（42. 10. 15）　魚忠で



（42. 10. 15）　魚忠で

喜びも悲しみも幾春秋

湘南二十六年

湘南は、昭和二年から、二十八年まで二十六年間、殊に二十三年三月末、長ご退職後、上林校長、浅井教頭を輔けて、国校長として戦後の混乱期、学制改革時の大変革期に苦心され、功績は高く評価されている。

旧師訪問〔1〕
加賀屋平三郎先生

昨年十月に一切の公職を退いて、平塚市竜城が丘に自適している加賀屋先生を訪問した。

お年をうかがうと、六十六歳、髪こそ薄くなり、トレードマークの眼鏡こそないが、いつもながらの端正な物腰、ひきしまった皮膚からは、老人の影は少しも見られない。

先生は秋田弁で話され、能弁ではないが、いわゆる手腕家ではなさそうだが、自ら策を弄したりは一切されない。常に正直を歩んで淡々と「自然に主なるに生きつづけて来られた。

「湘南の家の家長であり、と評したが、先生の現在はまさにそのとおりだと思った。

「教育の家に於ける慶あり」と評したが、先生の現在はまさにそのとおりだと思った。

育学校長として九年

二十八年三月末、県の教務取扱を輔けて、育学校長（先生の教養）の予算執行と戦後の混乱期、学制改革坐に深関されたという。当期に非常に苦心され、功績は高く評価されている。

「いや、長いばかりで、何もいたしませんでした。」と謙遜されるが、「他国者のわたしは、藤沢にきて二年数年ありましたが、全然なじみがない。それで、全然ないところを長くしていたという事だけで、見えない御恩と教師を長くしていただいたと思います。」と、当時の副校長を見込んで、育校長として推薦された先生を、育校長はじめ同僚もあり、年の援助をうけることに成功した。二十九年に校舎増築、事務室、教室、講堂、体育館、プール、校庭の整備拡張と、次々と学校施設の充実に努力された。

校長として

「いや、決して本意ではなかった。」が、時の教育長、県立湘南高校長の話に、「君は教育者だから、教育者として、高校長を引き受けてくれ。」と、説得されたという。

湘友会の発展を

母校と湘友会

全日制千五百、定時制七百、通信制三千、計五千名の生徒と、百名の教職員を擁して、ますます隆盛の母校の現状は、われわれ同窓生の誇りとするところである。そして毎年二千余名もの卒業生を、わが湘友会が迎える。

同窓会の繋り

毎年母校を会場として、生の後輩の卒業生が母校に世話になる位の年輩層から、新しい卒業生かであろう。親と子ほど年令が離れては、話しが合わないということだろう。同窓会も歴史が古くなると、こういう現象はさけられないようである。何とか解決の法はないものであろうか。

年令のへだたり

総会を開いている。参会者は、わが子が母校に在籍の会合も同様の現象を嘆いている。

課程のちがい

戦後誕生の定時制・通信制の会員とは、やはり疎遠の感じは望めないゃ。それでは、外たりである。これを契機に、更に相互扶助の実をあげたいものだ。

同期会、支部会、職場同窓会も行なわれている。これも盛んなのもあれば、不活潑のもあるようだ。支部の会合も同様の現象を嘆いている。

法律相談所

昨年の総会でとり上げられた「湘友会法律相談所」は、関係者の努力が実って発足をみたのは、喜ばしいことである。天野会長がたびたび福祉事業を提唱する会員の手助けを、常時

会の運営

本部中心

本部中心の運営の望ましくないことは、いうまでもない。母校勤務の会員のご苦労は、大変なものであろう。といって、各地に散在

会報を皆のものに

毎年ブランケット四頁の会報が、郵送される。本部の編集者は、紙面のマンネリ化を憂えている。会員の会報なのだから、どんどん意見を寄たり、投稿したりしてはどうだろうか。それと、宛名がちがって、空しく返送される会報が多数あるという。

名簿の充実

移転したり、異動があったりした時は、必ず本部に通知するようにしたらどうだろう。それと同期会や、支部や職場などから、一括して住所のみならず、職場も明記してある名簿をたら、実に利用価値が増すであろう。

本部は現在、五十周年記念事業の一つとして、名簿発行を企図し、準備を進めているが、是非会員が協力して、正しいものにしたいものである。

財政の確立

経常費は、卒業時納入する終身会費でまかなわれているが、これも予算を感じる。創立三十周年、赤木先生寿像建設、母校復興、今回の五十周年記念等と、募金が、更に発展するために、一万人を越える会員の衆知を集めて、更に発展を期したいものである。

五十周年を迎えるに当って

光栄ある半世紀をけみそうとしている母校と湘友会。今からどしどしご投稿願えませんでしょうか。殊に定時制・通信制卒業の方の得られたら、結びつきも深くなると思います。ご批判と同時に、ご投稿を鶴首しています。

編集後記

会員の会報だから、会員の意向の反映したものにしたい。何時も同じような紙面になってしまって、恐縮している。それに編集者が多忙だったりで、お手許に届くのが遅れたことをお詫びしたい。会員の方どうでしょう。

湘南神士録 (6)

西島桂吉君(22回)

鶏口たるとも

荒間蒼海